

シアトル別院時報

29巻6月号

2010年度教化標語
世の中安穩なれ

浄土真宗の教え（5） — “仏さま と 私達”

シアトル別院輪番 松林芳秀

私の大好きな讃仏歌の一つは「仏さまは何処に」です。

その一節は、

仏さまは何処に、何処に いらっしゃる？

春は 花咲く 枝のもと

夏は 水辺の 草の陰

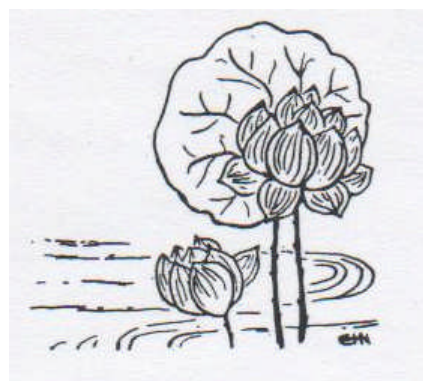
秋は 空ゆく 雲の上

冬は 窓うつ 雪の中

何時も 何処かで 見ていて 下さる

何時も 何かを 教えて 下さる

仏さまは あれあれ あそこに いらっしゃる！



この讃仏歌の様に、私達の毎日の生活の中に、何時も仏さまが居て下さり、何時も何かを教
えて下さる仏さまと一緒にあったら、私達の人生は本当に素晴らしいものでしょう。

私は戦前、父が開教使をしていましたハワイ島のオーラー（現在のプナ）砂糖黍プランテーシ
ョンの側で生まれました。しかし、幼少の時に母
が病気になり、私は母と四人の姉弟と共に島根県
の父のお寺に帰り、そこで大きくなりました。第
二次大戦が始まると、ハワイの父はアメリカの大
陸に抑留され、戦争中に第一回日米捕虜交換船で
日本へ帰って来ました。

子供の頃よりお寺で、祖父、父母の説く仏さま
の教えを聞いて育ち、サンデー・スクールの讃仏
歌「のんの ののさま ほとけさま・・・」の様
に、私の生活の中に仏さまが何時もありました。

孔子は『論語』の中で自分の人生を省みて、
「十五歳の時に学問に志した・・・」と述べてい
ますが、私も新制中学の時に、真剣に仏さまとは
と云う疑問を抱く様になりました。丁度その頃、
京都の中央仏教学院を卒業して、ハワイへ帰って
いく一番上の姉が京都より島根県のお寺へ帰って
来ました。私は姉に「仏さまはどうしてわかる

6月の予定

6日 10時 別院先亡会員追悼法要
日本語法要なし

13日 10時 ダーマスクール表彰式・法要
11時 日本語法要

11時半 輪番松林リタイアメント ティー。
ポットラック ランチ

17日 1時半 日系マナー法要

20日 10時 家族法要
11時 日本語法要

22日 10時半 敬老ホーム法要

27日 10時 総長、輪番忌法要
11時 日本語法要

28日-7月2日 キッズサマープログラム

の？」と、尋ねました。

今でも、何故その様な質問を姉にしたのかわかりません。しかし私は自分の人生を真剣に考え様と、真面目に質問した事は事実です。姉の答えは、「そうだな、“三願転入（さんがんてんにゆう）”か、“二種深信（にしゅじんしん）”によるだろうな」でした。その時の私には、“三願転入”も、“二種深信”も十分に理解出来るものではありませんでした。しかし、以後今日まで半世紀以上にわたる私の仏道の研鑽の道標となり、必ず仏さまがわかると確信を持って仏教を学ぶ事が出来た事を、姉に感謝しています。

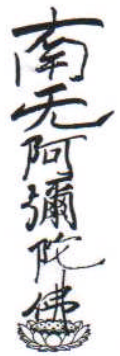
“三願転入”とは、阿弥陀仏の48願の中で、第19願、第20願、そして第18願の人生の転変です。第一の第19願は、自力の心で歩む人生です。親鸞聖人の人生では、9歳の時に出家得度をして比叡山に登られ、20年間の自力修行の時代です。しかし聖人が29歳の時、「いずれの行も及び難き身なれば、地獄は一定住みかぞかし」と涙ながらに比叡山を降りられた人生です。それから第二の第20願は、法然上人の門下になり、念仏の教えに入られた人生です。そして、第三の第18願は、阿弥陀仏の絶対他力の働きに出逢われた人生です。聖人はその時の事を『教行信証』の中で「私、釈尊の弟子・親鸞は、建仁元年（1201）、雑行を捨てて阿弥陀仏のご本願に目覚めました」と、絶対他力の人生の喜びを述べておられます。

“二種深信”とは、「機」である私達凡夫と、「法」としての仏さまの機法二種を深く信ずる心です。第一は、私達凡夫の人間性の鋭い洞察による反省と深い懺悔による自覚です。そして第二は、法である阿弥陀仏の大きなお慈悲の働きを深く敬ぶ心です。これら二種類を深く信ずる心です。

親鸞聖人は『教行信証』の中で、二種の深信について、善導大師のご文を引用して、一つには、自分は罪惡生死の凡夫であるから、とても自分の力では覚りを開けないと自覚し、信じる事。二つには、深くかの阿弥陀仏のご本願は私達凡夫を摂め取って、仏の覚りの世界へ導いて下さると信じる事と述べておられます。

この様に、“二種深信”は、覚りを開く事が出来ずに迷いの世界にいる私達が、阿弥陀仏のお慈悲の光明に照らされて、覚りを開く事の出来ない機（私達凡夫）の深信が消えて、仏さまに出逢う事が出来る教えです。

孔子は、70歳の時に、「心の欲する様に行いをして、摂理に反する事はない」と、まさに浄土真宗の自然（じねん）の境地を述べています。親鸞聖人は86歳の時に書かれた書簡の中で、自然とは、始めより“しからしむる”と云う言葉です。阿弥陀仏のご本願は、始めより南無阿弥陀仏を信ずる念仏者を仏の覚りへ自然に導くのですと説いておられます。そこに、私達は仏さまに出逢う事が出来るのです。合掌



82 誕生

沼田智秀著「ささえあって」百八つのおもい より

誕生とは生まれること、出生ということですが、宗教の中には、誕生は三回あると説くものがあります。すなわち、一回は父母を縁とした肉体の誕生、二回目は教えに遇って回心する、新しい「いのち」の誕生、三回目はこの肉体が死んで、新しい世界への誕生です。

親鸞聖人のお言葉にも、

本願を信受するは、前念命終なり。「すなわち正定聚（しょうじょうじゅ）の数に入る。」と。即得往生は、後念即生なり。「即のとき必定に入る」と。また、「必定の菩薩と名づくるなり」と。（「愚禿鈔」）

というのがあります。

阿弥陀如来のお心が受け取れた前念に命終（臨終を迎え）し、後念に新しい「いのち」が誕生すると、親鸞聖人は言われたのです。

ここでいわれる命終は、「私が、俺が」という心に胡坐をかいていた生命が終わるということです。そして即時に間違いなく仏になる菩薩として誕生するといわれるのです。

オリオンハウス サービスプロジェクト



去年の冬、ダーマスクールの親たちが何人かで私たちの中学生の為の社会奉仕の機会を探していました。私たちは、仏教の教えである、慈悲、ダーナ、正見、道徳を直接取り入れられるプロジェクトを希望していました。また、親たちは子供と親が共に出来るか親たちだけでも参加できることを希望していました。



そしてオリオンハウス(ユースケア)に月一度夕食を作り、サーブするアイデアができました。オリオンハウスは非営利団体でホームレスの子供たちに食事、シャワー、緊急サービス、過渡的ハウジング、教育機会、職業訓練、などで支えとなっています。また、そこでは子供たちに何時間かを外から入る場所を提供します。ここ何年かシアトル地域ではこのような支援の要る子供が63%も増えました。オリオンハウスではその需要に対するように拡大する対策をしようとしています。私たちの月一度のプロジェクトは食事の計画、フードの買い物、調理しオリオンハウス来る子供たちににサーブすることです。私たちのダーマスクール父兄は2009年11月20日、オリオンハウスに毎月第3金曜日に食事を用意しサーブすると申し出ました。それ以来毎月、寄せ集めグループやお寺の正式なグループなどが食事の準備し支払い、オリオンハウスの40-60人にサーブしています。ダーマスクールの生徒たちでこのイベントに参加した生徒の多くがとても有益な経験で仏教の重要なレッスンを学んだと言っています。



父兄たちでそれに参加した人たちは、オリオンハウスの業績に感心しそれに協力できたことが実りある経験であったと思っています。

オリオンハウス (Orion House) はサウス レーク ユニオン地域にあり (1828 Yale Ave. (Denny & Stewart))

ウェブサイトは www.youthcare.org/index.php/services/orion

ダーマスクール父兄の方々へ

宗教部では6月6日ダーマクラス中に父兄にメモリアルホールにて集まりオリオンハウスのようなアウトリーチへの取り組みの機会について話し合いたいと思います。施し方法の実践とし、地域への恩がへしのようなアイデアがありましたらお知らせ下さい。 合掌

星野アラン 宗教部副部長

松林輪番リタイアメント

輪番への感謝を表し6月13日11時半よりリタイアメントティーを開きます。(ポットラック)

お内陣の生け花のヘルプをもとめています



生け花係りの人たちがリタイアされて以来、松林奥様が今まで続けてこられました。宗教部ではお内陣に3箇所、納骨堂に1箇所の花を生けて下さる方を探しております。花は木曜日にお寺に配達されます。その後より土曜日にかけて活けてもらい次の週までそのままです。水は適時変える必要があります。花器と水、花の重量をあつかうのが問題になります。生け花のクラスも用意できます。もし生け花が出来ない時は模造の花もバックアップとして用意できます。もしだれかご自身かご友人でこの美しく有意義なご奉仕に興味のある方はぜひカストロ先生までご連絡下さい。

宗教部よりのアップデート

宗教部では輪番松林がリタイアされた後の11時からの日本語法要と日本語セミナーの計画についての副委員会を形成しました。

最初のタスクとしましてはゲストスピーカーを特定することです。

各週のプログラムに他州のスピーカーを呼び寄せる機会と共に地域のスピーカーを確保することがコストをコントロールする上でも重要です。

カストロ先生はすでに秋にかけて日本語の先生を幾人かアレンジされています。

8月1日 被爆者追悼法要 (未定)

8日 松林先生

15日 竹村先生

22日 恵信尼公と覚信尼公の顕彰法要

竹村先生

29日 シーダーマン先生

9月5日 竹村先生

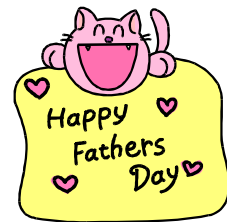
12日 秋のお彼岸 (未定)

19日 竹村先生

11月のファミリーミュージック法要 湯川先生

毎月の法話のテーマ等も考慮中です。

この日本語法要計画のプロセスに参加希望の方は(nihongo@seattlebetsuin.com)までご連絡下さい。日本語会員の皆様のご感想・ご意見などが将来の予定に反映しますぜひ同じメールまでお知らせ下さい。



ダーマスクール



6月13日はダーマスクールの皆勤賞と高校卒業生徒の表彰式です。その後輪番のリタイアメントお祝いの会を開きます。ビンゴゲームと子供のバウンシーボールがあります。これは今年の別院ピクニックの代わりとなります。DS最後のイベントにご参加下さい。

ダーマスクール教師はロスアンゼルスに於いての第59回ダーマスクールティーチャーズリーグのコンフェレンスに参加できる機会がありました。テーマは「ただ」で小谷先生が法話をくださいました。先生のいつもの、挑戦的な、ユーモアのある、多くの歴史的な事項を盛り込んだご法話は皆関心しました。日本の文化がいかに宗教に結び付いているかを実感しました。多くのDS先生たちとの交流も大変うれしい機会でした。この機会をありがたく思います。「ただ、just do it」 I did, I'm glad I did. ナイナ

7月の予定

10日 お盆墓地法要

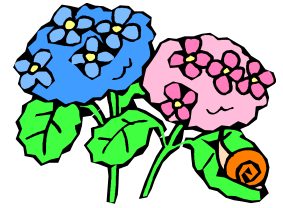
11日 お盆・初盆法要 10時 墓地法要

17日—18日 盆踊り

23日—25日 N.W.Y.B.L. リトリート 別院にて

29—8月7日 ダーマスクール日本旅行

婦人会便り



会長のメッセージ

八幡静江

- 約160名の婦人会会員が3名の新入会員を恒例の入会式並びに親睦会に歓迎いたしました。新入会員 おかわジェニー、上地シャール、並びにリン・グードリッチの方々が会員部委員会 Co-chair 高島キヨ子に紹介されました。
- 2010年5月2日の入会式以後に新しく婦人会に入会されたダーン・キーリィは次回の理事会で会員の方々に紹介されます。
- 入会式法要と親睦会会食を計画、執行して頂いた副会長馬場ジャネット並び和田真知子にお礼を申します。
- 2010年6月22日の婦人会会員の小旅行の行き先はチュカナットドライブです。

婦人会活動

マリオン浅場

6月のクラフトセッションは下記の通り

6月2日(水) ビードクラスーネックレスやブレスレット作り(10人限定)

6月9日(水) ハッピーコートの裁縫。全婦人会会員の参加の要請。

ハッピーコートを裁断し縫うのに沢山の手が必要なので。

これらの作品は7月のお盆踊りにて一般の人達に売ります。階下のダイニングルームにて9時半より始め、予定時間より長くかかる可能性があるため、お弁当持参の要請。

カード作成の為に Pressed Dried Flower の級があります。この級は6月9日以降で、水曜日ではなく、確実な日時は後ほどお知らせします。

上記に関する情報と sign-up 用紙は別院の掲示板に貼って有ります。

寄付感謝録

一般寄付は、英文寄付欄を参照下さい。

6月行事予定

6日(日) SBBWA 理事会

19日(土) セワードパークにての Walk for Rice に婦人会が参加

22日(火) チュカナット ドライブ観光



通信書記(日) 新保悦提出

エコサンガ

シアトルのファクトリーで古い自転車のタイヤを使ってバッグや財布を作る所を見学しました。再生品をヘルストアやスポーツ店で見つけられます。ソーラーエネルギーの個人的なものが出回っていて、バックパックに付けるとセルフォーンとかラップトップの電源になるそうです。キャンプではすでに水沸かしとかに使われていましたがもっと他にも使える様になりました。ファーマーズマーケットが開いています。有機野菜がフレッシュです。有機野菜は有毒な農薬が私たちの水に流れ込むのを防ぎ、化学薬品が体に入る心配もありません。

日本語版のイーメール・アドレス Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com

シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子

